

令和6年度 第1回 大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会 会議録

開催日時： 令和7年1月28日(火) 15:00～17:00

開催場所： 池上会館 本館 3階 視聴覚室

出席者：	学識経験者	一般社団法人日本公園緑地会副会長	島田 正文
		筑波学院大学名誉教授	坂本 要
	関係社寺	池上本門寺総務部執事	山村 栄慎
		池上本門寺学芸員	安藤 昌就
	地域団体	池上まちづくり協議会会長	村石 忠司
		池上まちづくり協議会副会長	廣脇 大士
		池上まちづくり協議会事務局長	深川 幹祐
	大田区	スポーツ・文化・国際都市部長	井上 隆義 (途中退出)
		産業振興課長	石川 里香 (代理出席)
		まちづくり推進部長	西山 正人
	事務局	都市計画課長	深川 正浩
		都市計画課計画調整担当係長	田邊 拓真
		都市計画課主査	杉島 貴史
		都市計画課主任	後藤 礼
		都市計画課係員	新井 祐輔
		大田図書館長	後藤 清
		大田図書館文化財担当係長/郷土博物館長	村松 美紀
		大田図書館文化財担当主任 (学芸員)	田島 太良
欠席者：	学識経験者	元日本大学教授	大川 三雄
	地域団体	大田区自治会連合会会長	鈴木 英明
	大田区	教育総務部長	今井 健太郎

- 次 第：
- 1 開会
 - 2 区長挨拶
 - 3 委員紹介
 - 4 議題
 - (1) 委員長及び副委員長の選出
 - (2) 歴史的風致維持向上計画について
 - (3) 計画の策定体制及び策定スケジュール(案)について
 - (4) (仮称)大田区歴史的風致維持向上計画の構成(案)について
 - (5) 大田区の歴史・文化資源と歴史的風致等の関係について
 - 5 事務連絡

配布資料： 次第（本紙）

委嘱状

資料 1 歴史まちづくりパンフレット(国交省)

資料 2 計画の策定体制及び策定スケジュール(案)について

資料 3 (仮称)大田区歴史的風致維持向上計画の構成(案)について

資料 4 大田区の歴史・文化資源と歴史的風致等の関係について

参考資料 1 (仮称)大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会設置要綱

参考資料 2 (仮称)大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会設置要領

参考資料 3 (仮称)大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会名簿

参考資料 4 大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会座席表

参考資料 5 歴史的風致維持向上計画策定の効果(メリット)

参考資料 6 認定都市の歴史的風致維持向上計画

当日資料 1 「大田区における歴史・文化資源」の提案用紙

当日資料 2 大田区における歴史・文化資源図

議事内容

1 開会

事務局（会議録の作成・録音について、タブレットの活用について、資料確認）

2 区長挨拶

鈴木区長 皆様こんにちは。大田区長の鈴木晶雅です。

「第1回 大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会」の開催にあたり、御挨拶申し上げます。

この度は、本協議会委員の御就任について、快く御承諾をいただくとともに、本協議会に御出席を賜り、誠にありがとうございます。心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

区では、令和6年3月に「大田区基本構想」を策定し、基本目標のひとつとして「多彩な文化や芸術、歴史や伝統が暮らしとともにあることで、心が潤い、豊かな感性が育まれるまち」を目指しております。また、現在策定を進めている「大田区基本計画」では、区の施策として「心ときめく豊かな地域をつくる 文化資源の創造と継承」を掲げ、めざす将来像の実現に向け、歴史・文化の視点を活かしたまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

さて、当区の池上地区においては、日蓮聖人入滅の地である池上本門寺を中心として、鎌倉時代以来 700 年以上にわたって歴史と文化を紡いでまいりました。戦災を免れて存続する五重塔や宝塔といった重要文化財の建造物や、30 万人もの参拝者を集める御会式などは、まさに全国に誇れる区の魅力であると言えます。

さらに、区全域に目を向けると多摩川沿いに連なる古墳群、湧き出る黒湯を使った銭湯及び東京湾での海苔生産の歴史など、区内のいたるところに悠久の時の流れを感じることができる大田区ならではの魅力が散りばめられています。

この機会に、今まで育まれてきた多くの歴史・文化が現在における大田区の礎になっていることを改めて認識していくとともにこれらの地域資源を守り、次世代に継承して、区独自の歴史文化資源を活かしたまちづくりを地域の皆様とともにさらに推し進めるべく、本協議会を立上げ、歴史まちづくり法に基づく「大田区歴史的風致維持向上計画」を策定し、計画的に施策を展開してまいりたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、歴史まちづくりに造詣が深い、御専門の方をはじめ、地域のまちづくりに関わる方々にお集まりいただいております。ぜひとも様々なお立場から御意見や御提案をいただきますとともに、区民の皆様が歴史・文化をめぐり、訪れたくなるまちづくりの実現に向けて御協力をお願い申し上げまして、御挨拶にかえさせていただきますと思います。

どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

3 委員紹介

事務局（委員の紹介及び事務局の紹介）

4 議題

（1）委員長及び副委員長の選出

事務局（委員長、副委員長の選出、傍聴に関する報告）

（2）歴史的風致維持向上計画について

（3）計画の策定体制及び策定スケジュールについて

- 事務局 ●国土交通省の発行した歴史まちづくりパンフレットを説明した。(資料1)
 ●大田区歴史的風致維持向上計画の策定体制・策定スケジュール(案)を説明した。
 (資料2)
- 委員長 ●質問等はあるか。
- 委員 ●池上まちづくり協議会の約10年間の活動の中で提案してきた内容を確認してほしい。
- レンガ囲いの六郷用水は、和の雰囲気を取り入れた姿への変更を望む。
 - せせらぎを復活できないか。その際、大田図書館南側の整備事例は参考になる。
 - 池上本門寺以外にも芳心院墓所(ほうしんいんぼしよ まんりょうづか)や大森貝塚など多くの歴史・文化資産があり、それらも位置づけてほしい。
 - 他自治体が計画策定時成功・失敗点を共有してほしい。
- 事務局 ●区民が価値を感じる地域の資源を宝探しのよう掘り起こすことを優先している。発掘された資源は、法的な位置づけの有無に関わらず、まちづくりへの活用を検討する。
- 本計画では他自治体の事例踏襲ではなく、大田区固有の歴史景観を活かし、見過ごされている資源をつなげて回遊性を高めることを重視する。
 - 計画の方針作成だけでなく、その後の具体的なまちづくりの展開を重視している。
- 委員 ●協議会前の委員による池上本門寺の解説は、長年の区民でも初めて知る内容が多く有益だった。
- 大田区の歴史・文化の中心である池上本門寺について、委員全員の理解を深めるため、委員の協力を仰ぎたい。
 - まちづくり協議会では六郷用水や平間街道の認知度が低く、石碑があっても気付かれにくい現状がある。委員として、池上本門寺をはじめ大田区の歴史について学びを深めていきたい。
- 委員 ●池上本門寺は地区の中核であり、門前町として発展してきた歴史を持つ。現在は霊場的空間の維持・整備を通じて歴史的・宗教的価値の創出に取り組んでおり、その延長として大田区全体の歴史的風致の維持向上のお手伝いをしていきたい。
- 委員 ●池上本門寺一帯だけではなく、多摩川沿いや東海道沿いなど大田区全体に広げて総合的に捉え、時代による特徴的な産業遺産やまちなみ、地形などを評価・検討していく必要がある。
- 事務局 ●大田区全域において、様々な時代背景や内容を含めた幅広い歴史的資源の掘り起こしを目指している。
- 委員 ●大田区には武士の居住跡や、久が原地区の昭和初期のお屋敷など、未発掘の歴史的建造物が多く残されている。近代以降の歴史も含め、区の時代的変遷を幅広く捉えることが重要である。
- 委員 ●事務局は池上地区を中心として認識しているが、歴史的な視点からの検討が重要である。
- 池上本門寺については、現在の東京中心の視点ではなく、鎌倉時代における武蔵国の位置づけや、各時代における政権との関係性など、より広い歴史的文脈での検討が必要である。

●律令制度との関連も含め、これらの深い考察には相当な時間を要する。現在の計画策定スケジュールでは時間が不足していると考えられ、計画認定までの各過程の具体的な深度や、その後の実行段階も含めた長期的なロードマップを明確にしたい。

事務局●詳しくは後程説明する。

●計画の基本構成は既に定められており、その中に大田区の要素をどう組み込むかについて協議を行う予定である。認定後の年次的な修正・発展を通じて内容を充実させていく予定である。

(4) (仮称) 大田区歴史的風致維持向上計画の構成について

(5) 大田区の歴史・文化資源と歴史的風致等について

事務局●大田区歴史的風致維持向上計画の構成(目次)案を説明した。(資料3)

●認定都市(他都市事例)の歴史的風致維持向上計画について説明した。(参考資料6)

事務局●議題(5)は資料3の大田区独自の追加項目に関連する内容のため、先に説明させていただきたい。

委員長●先の委員の指摘は、国交省への申請スケジュールと協議会での議論のスケジュールがタイトではないかという趣旨であり、先に回答いただきたい。

●資料2によると、計画申請までの約1年間で協議会を3回開催し、マニュアルに沿った内容を全て協議する必要がある。岡崎市の例では申請から認定まで約2ヶ月を要している。このスケジュールについて、委員間で認識を共有しておく必要があると思う。

事務局●申請から認定までに、おおむね3か月程度を見込んでいる。

委員長●タイトなスケジュールとなるが、皆様には協力をお願いする。

事務局●大田区の歴史・文化資源と歴史的風致等の関係について説明した。(資料4)

委員長●洗足池公園についての言及がないのではないかと。

事務局●洗足池公園と公益社団法人洗足風致協会は50年以上の歴史があり、歴史的風致として整理が可能である。

●東京都の指定文化財は重点区域に指定できないものの、歴史的風致での整理は可能である。

●池上本門寺を中心とした重点区域への認定が見込まれており、そこから面的に繋がる地域であれば、洗足池公園も重点区域に含められる可能性があることから、委員の皆様には一つでも多く地域の歴史、活動、建造物、産業など、様々な観点からの情報提供をお願いしたい。

委員長●音や匂いも含め、あらゆる要素を幅広く提案いただきたい。

委員長●大田区の祭礼文化には特殊性がある。一般的な江戸前の神輿と異なり、羽田の「ヨコタ担ぎ」や、品川区・大田区特有の「城南担ぎ」が存在する。目黒囃子という独特の祭囃子も伝わっている。これらの文化は約50年以上の歴史を持つであろう。これらの特徴的な祭礼文化は郷土博物館にも詳細な資料が少ないものの、歴史的風致を考える上で重要な観点となる。

- 委員 ● 亀甲山古墳周辺のかつての松林景観を復元する事業を、歴まち計画の予算で実施できないだろうか。
- 多摩川との関連性も含めて、歴史的風致地区として連続的な景観を考えていくべきである。
- 委員 ● 池上本門寺では50年ごとに実施する遠忌が6年後に750遠忌を迎えるのをきっかけに、準備委員会を発足し、鉄筋コンクリート建造物の修繕を行うことを計画している。
- 歴まち計画の策定を通じて、歴史的価値を高め、池上本門寺および大田区全体の発展及び外部からの集客を促進していけるとよい。
- 委員 ● 歴史的風致維持向上に関連する、景観計画や緑の基本計画の変更があり、今回の計画はそれらと密接に関連している。
- 委員の皆様から意見を頂戴しながら計画をまとめていきたいと考えている。限られた時間であるが、調整を行いながら、皆様の意見も取り入れて進めていきたいと考えている。

5 事務連絡

- 事務局 ● 第2回策定協議会の開催は、令和7年5月下旬を予定している。場所は調整中である。決定次第連絡する。
- これにて、第1回大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会を終了する。

以上